

公団大島六丁目団地自治会

みんなの会報

明るい団地は あいさつから

発行 公団大島六丁目団地自治会
編集 広報部・事務局
自治会事務所:13時~17時(金・日・祝日休)
TEL:(3636)6470 FAX:(3636)6479
ホームページ:http://www.6-dan.com
メールアドレス:rokudan@road.ocn.ne.jp

お買い物券配付します

40周年を記念し、リサイクル費用還元の一環として「記念まつり」に続いて、自治会と関係の深い大島六丁目団地ショッピングセンターと青空市で使用できる金券(500円×4枚合計2000円分)を自治会員(会費納入者)に配布いたします。使用可能期間は12月1日~12月31日です。期間を過ぎると無効になりますので期間内に、お買い物券裏面の「使用注意事項」をよく読んでご使用ください。



お買い物券は、点線より一枚ずつ切り離し、必ず号棟と部屋番号と署名をして、下記店舗でお使いください。

使用できる店舗は下記です。記載以外の店舗での使用は出来ません。

大島六丁目団地ショッピングセンター

- 1号棟 カチモゴ
- 2号棟 イシバシ
- 4号棟 アプリコット
- さくらクリーニング
- いのせ寝具店
- 百花園
- やまじ
- りんりん大島
- 5号棟
- 小さなパンや
- アサリ
- のなかストア
- 実楽来
- こむろ
- 麦屋酒店

大島六丁目団地 青空市

- カネマサ商店
- 滝沢水耕園
- 銚子港萩原水産
- 丸悦物産
- みのり物産
- 渡辺米穀店
- 銀寿し
- 万彩屋



10月22日(土)自治会創立40周年を祝う「記念まつり」が11時~17時に巨り盛大に開催されました。中央広場を中心に、模擬店、射的、ミニSL(388人乗車)、フリーマーケット、写真などの展示に宮城県登米市の物産店も同時開催されました。若竹太鼓、インド舞踊、相撲甚句、チャリディング、ハワイアンダンス、セネガルの太鼓、のびのび作業所とプロの集団荒馬座との共演など、国際色豊かな演技が披露されました。プログラムには、模擬店などで使える2000円券が添付され、会場内はプログラムを手にした人々で大賑わいでした。最後の大会は400人以上が応募、一等は自転車4台、豪華景品で二番の盛り上がりになり、大人も子供も楽しめた1日になりました。



大島六丁目団地40周年記念まつり

がんばろう東北 助けあいの心



40周年記念誌発行します!

2011年1月15日発行予定で大島六丁目団地自治会創立40周年記念誌の発行を予定しています。全ページ数56ページ、うちカラー8ページA4判の大の保存版記念誌を作成中です。

40周年記念誌発行します!



40周年記念まつりでの義援金
6万7934円集まりました!
ご協力ありがとうございました。



▼皆さんは海外で生活したことがありますが、私は現在の生活が2回目の海外生活です。最初はオーストラリアのシドニーで生活を、次は日本です。英語を使っている国は文化の違いが大きいと思いました。最初の問題は言葉が通じないことです。その中で一番苦しかったのは病気のときでした。言葉での説明が難しかったです。健康はいつもいつも第一です。健康はいつも第一です。健康はいつも第一です。

やまびこ

▼日本では生活して13年になりました。長い間個人的にいろいろな出来事がありましたが、一番は今年の3・11でした。一生忘れることではないと思います。私が日本を離れる理由の一番大きな原因にもなっています。日本は地震の大国ですから、いつも気を付けたいといけません。特に今回は便利帳を充実させ団地生活で役に立つ保存版を作成致しました。また40周年を振り返る中様々な出来事や団地内で起きた事など後世で役に立つよう、多くの活動を判り易く掲載しています。

「第9回団地の生活と住まいアンケート」結果(大島六丁目団地集計)

高齢化と低収入化がさらに進んでいます。これ以上の家賃値上げは、生きてゆけません!

今回で9回目の「団地の生活と住まいアンケート」(回収数1181戸)。3年に1度「家賃の値上げは困る」という生活実態と声を、都市機構等各関係機関に届けることを目的に実施しています。アンケートの結果からは、前回からさらに高齢化と低収入化の結果になりました。

1 なんと世帯主の72%が60歳以上

入居開始40年がすぎた大島六丁目団地、図①の56%でしたから高齢化スピードは急ピッチで進んでいます。

2 当団地に住み始めた年と家賃

当団地に25年以上住んでいる世帯は55%です。5年以内が21%と新しい入居者も増えています。家賃は7万~9万円の世帯が69.3%です。

4 昨年の世帯収入とその主な内容

世帯収入は図②のとおりです。年収375万円未満が69%と約7割です。中堅所得層以上の都市勤労者を対象にしています。

5 家賃負担が「重い」という世帯が9割

家賃の負担が「たいへん重い」57%と「やや重い」34.5%を合わせると実に9割を超える世帯が、家賃の負担が重いと感じています。

6 今後とも住み続けたいと思っています

多くの居住者は今後とも住み慣れた当団地に住み続けたいと考えています(66.2%)。都営住宅への

7 住戸修繕の要求も切実に

表④の住戸修繕の要求をみますと築40年の団地なので、たたみ床やふすまの取り替えの声が続々と出ています。

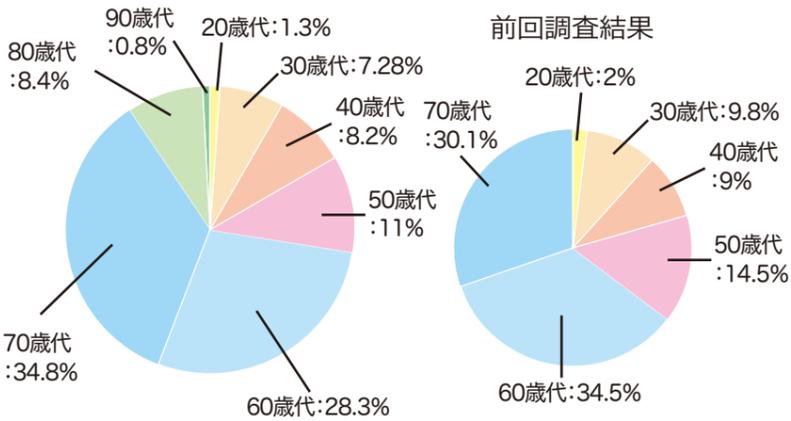
8 ご意見について

ペット問題、ロソンの飲食、上下階層の騒音が圧倒的でした。

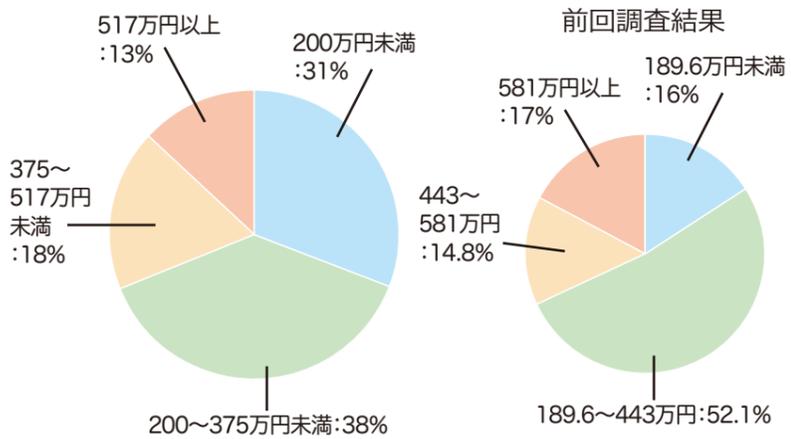
表① 団地生活者の年齢構成の推移(%)

	1993年	1996年	1998年	2002年	2005年	2008年	2011年
学齢前の幼児	6.1	4.1	4.2	4.2	3.2	3.8	3.1
小学生	6.9	5.5	4.4	3.8	2.1	2.7	1.8
中学生	3.4	2.8	2.1	2.3	1.7	1.9	1.2
16歳~19歳	8.0	5.2	4.0	3.1	6.0	2.3	1.6
20歳代	16.1	16.5	15.3	13.2	8.5	7.7	5.0
30歳代	11.2	9.5	10.6	15.6	13.7	14.7	11.2
40歳代	18.3	16	12.8	9.4	9.0	8.5	9.9
50歳代	18.5	21.2	22.9	17.6	16.9	12.9	9.0
60歳代	7.8	13.2	15.0	21.5	24.3	27.7	25.3
70歳代	4.0	6.1	5.9	9.2	15.0	20.5	24.8
80歳代~90歳代							7.1

図① 世帯主の年齢



図② 昨年の世帯収入



表② 世帯収入の主な内容(%)

給料が中心	22.4
給料とパートとアルバイト	7.2
給料と年金	14.1
年金が中心	37.4
年金とパート	10.8
自営による収入	4.9
失業中、その他	3.4



表③ 家賃について(複数回答)

高齢者世帯は減額を	537人
高い家賃の値下げを	511人
収入に見合った家賃を	397人
値上げせず据置を	358人
子育て世代に配慮を	99人



表④ 住戸修繕要求(複数回答)

たたみ床取り替え	510人
台所・食事室等の防音対策	452人
トイレロータンク	413人
ふすま取り替え	411人
浴槽のまたぎを低く	404人
家具転倒防止	359人
壁紙・クロスの張り替え	337人



自治会40年をふりかえる

中島政幸会長に聞く



安全・安心の団地へ

第3回



1999年度の総合防災訓練

問われる団地の震災対策

3月11日の東日本大震災が起きて、自治会の対応はどうですか？

これまでも火災がおきたときなど、「何かあれば自治会へ」ということだったので、今年の東日本大震災は、自治会の防災対策にも、いろいろと教訓がありました。

見回りや訪問、集会所開放、避難誘導、四大小PTAの方々が炊き出しを

当日、不安に感じた人たちが中央広場に集まり、自治会としては3号棟の集会所を借りて避難所に開放しました。団地にいた役員、災害協力隊のメンバー、民生委員も協力して、見回りや、要支援の登録をされている方々の安全確認も行いました。

夜になって、父親が帰宅せずに不安に感じたインド人の方々を中心に約100人を、四大小の体育館へ避難誘導しました。四大小では学校とPTAの方々がカレーの炊き出しもしていただき、一夜を明かすことができました。

備蓄や炊き出しなどの体制を

当日、私も、仕事先から車だったのですが、渋滞に巻き込まれて、帰宅したのは夜の10時過ぎでした。他の役員も歩いて帰宅した人もいます。どういった状況でも対応ができるように、日ごろから訓練をし、準備をしておきたいと思っています。この日の防災訓練は、「月並みな訓練は出来ない」という決意で、準備をし、取り組みました。



組立式簡易トイレ

◆現時点の備蓄品一覧

アルファ米	600食
乾燥白がゆ	100食
保存パン	570個
5年保存水1.6ℓ	1000本
簡易トイレ2セット	
凝固剤	700回分

災害協力隊と班長さん

昔から災害協力隊はあったのですが、役員だけでした。防災訓練も行っていました。多くて100人ほどの参加でした。これではダメだということで、防犯防災部長になった盛さんが音頭をとって、97年11月、居住者に防災アンケートをとって、協力をよびかけて、98年に防災対策委員会を立ち上げました。

そして多くの方の参加と協力をえて、災害協力隊を強化し、各号棟では、フロアごとに班長を決めました。防災の

マニュアルや防災通信も発行するようになりました。99年の防災訓練は595人の参加を記録しています(左上写真)。その後、要支援の方のアンケートもとっていますが、だいぶ時間も経ちましたし、高齢者の方も増えていますので、もう一度、アンケートもとりたいたいと思います。

地域の共同の防災訓練も相談

六丁目団地は広域避難地にもなっていますね。そうなんです。昔、町会の人から、「六丁目団地に避難しても受け入れてくれないのではないかと」言われたことがありますが、「そんなことはないですよ」と答えたのですが、地域の皆さんとの連携を強めておくことは大事です。

じつは、来年の11月11日に、二大中学区の中央町会、三丁目町会、三丁目団地自治会、シティコート大島自治会、都営六丁目アパート自治会、六丁目団地自治会が共同して防災訓練を行おうという話も進んでいます。学校の皆さんにも協力していただくことになると思いますが、六丁目団地の居住者の皆さんにも参加と協力をお願いすることになります。

高齢者の皆さんが住みやすいように

高齢者が多くなっていますが、助け合いが大事ですね。行政の方からもアドバイスがあったのですが、役員会で相談を重ねて、2008年に、「サポートグループ」をつくることができました。

「お手伝いできる人」40人ほどが登録して、お手伝いを希望する人のところへ出かけて、病院へのつきそいや、電車の取り換えとか、1回300円でサポートをするしくみができました。

東京都の事業で助成が

今年度、東京都が、「地域支え合い体制づくり事業」を実施することになり、都市機構にも話が来たものですが、六丁目団地自治会も応募したところ、65万円ほどの補助を受けられることになりました。高齢者の集まれる集会所の確保や、お茶のセットなどの備品も備える方向で、相談を進めているところです。

高齢者の会もありますね。

団地には、73年に自治会の婦人部のなかに、高齢者のあつまりである「ときわ会」ができました。以来、今日まで、江東区からも助成をうける高齢者の団体として、六丁目団地を中心に活動を続けています。

97年には、高齢者の皆さんを中心に「野菊の会」ができて、親睦活動が続けられました。中心になつてきた方々が転出したり、病気で、13年の歴史を閉じました。「ときわ会」の皆さんはじめ、高齢者の方々の協力を今後とも続けていきたいと思っています。

子どもたちが住みやすいように

子どもたちはどうでしょうか。

団地は車も入らないし、子どもが安心して遊べると評判がよいですね。

ピロティや商店街前に明かりを

昔は、団地が暗かったのです。ピロティが暗くて怖い、危ないという声があつて、公団とも交渉して、電氣をつけてもらいました。商店街の前も暗かったので、ショッピングセンターの会長さんとも相談したら、当時の東京都の事業として、商店街の電氣がついたのです。

二大中前の「やすらぎの木かげ通り」という名前がついていますが、ここは江東区の事業として、ずいぶんと街灯が明るくなりました。通路も車いすが通れるように、平坦にしてももらいました。

「そうですか。明るい悪いこともできないからね。先日、6号棟のピロティで「たき火事件」がありました。火災につながる危険なことで、絶対にやめてほしいと思います。「防犯カメラをつけたらどうか」という意見もあります。これから相談をしていきたいと思っています。

同時に私が思うことは、小学生や中学生に、団地の行事にも参加してもらいたいということです。昔は、団地で号棟対抗の運動会を開いていましたから、二大小、四大小の生

公団住宅のゆえが危ない！

都市再生機構(UR)をこれからどうするか、国土交通省が「工程表」を作って7月に発表しました。

★都市機構をどうするか

①株式会社方式の新しい公的法人にする。
②賃貸住宅部門と都市再生部門の区分をはっきり分けて収益を増やす。

★賃貸住宅をどうするか

①76万戸の賃貸住宅は可能な限り順次縮小する。
②低所得高齢者が多数住んでいるので、低所得の高齢者向けの住宅供給を行う。

③継続居住者の家賃値上げ、特別措置の縮小。
④都心部の高額家賃物件は売却手続きをする。

⑤地方公共団体に買い取り、借り上げの意向を確認する。
⑥定期借家契約を導入する団地を広げる。公共住宅としての公団住宅を解消していく工程表なのです。

2011年 全国公団住宅居住者 総決起集会

とき：12月7日(水) 12時30分より
ところ：日本教育会館
※集合場所・松坂屋ストア横
時間：午前11時

2011年全国統一行動を成功させよう、私たちの声を届けよう！

それぞれの団地の居住者が集まり、全国的に団結することによって都市機構や国土交通省を動かすことができます。これまでも「居住者の力(統一署名)」によって、家賃や住宅の修繕や環境改善等で多くの要求を実現してきました。署名・カンパ活動へのご協力をお願いします。



団地まつりのプログラム

団地まつりでは、第三保育園の園児たちが子ども神輿を担いでくれますが、親たちも参加していただけますよ。(以下次号へつづく)

徒たち、二大中の生徒たちが、競い合ったものです。自然と応援にも熱が入りました。

いまでも、団地まつりのプログラムの表紙は、毎年、三つの学校の生徒さんに交代で書いてもらっています。会をつくりたいですね。

JSとのタイアップ キャンペーンのお知らせ

今年も住宅内のリフォーム事業に取り組みます。今回も修繕相談会が実施されることになりました。住宅内での修繕の相談をしてください。ポスター・チラシでお知らせします。
※期間中にお申込の方に限り、キャンペーンメニューの出張費は無料になります。(年内完了します)

JSアラカルトリフォーム価格表(一例です、詳しくはチラシをご覧ください)

	タイアップ商品	タイアップ価格 (消費税含む)	一般価格 (出張料含む・消費税含む)	模様替 の種類
1	①畳の表替え 1帖もの	5,800円	6,330円	
	②畳の表替え 半帖もの	3,400円	3,930円	
2	量産襖の 新品取替	7,350円	7,960円	
3	補助錠の設置 CP認定型	21,600円	25,300円	模様替
4	モニター付 インターホン	29,900円	31,500円	模様替
5	一番の目玉商品 (機種限定) 多機能洗浄便座 INAX(※)	29,800円 なんと取付費込 です!	35,000円	模様替
6	便所ロータンク 内部金物取替	19,500円	24,400円	

(※)多機能洗浄便座 INAXは取付できないお部屋もあります。

◆申込期間 11月17日(木)～11月30日(水)まで

◆申込場所 JS東京東支店 電話:5653-2131
月曜～土曜、午前9時～午後5時

※都市機構への模様替え申請等が必要な場合があります。(申請の手続きは日本総合住生活(株)がお手伝いします)

☆修繕相談会

日時 11月17日(木) 14:00～16:00

場所 3号棟集会所

・お住まいのトラブルの修繕方法
介護保険給付を利用した修繕(手すり設置、段差解消など)

☆物品販売

日時 11月17日(木)～11月30日(水)

場所 大島六丁目団地自治会事務所

品物 浴室排水目皿・浴室排水ワン・玄関灯グローブ(かさ)
・浴室灯グローブ



各号棟より中央広場へ避難誘導訓練



移送救出訓練



心肺蘇生・AED応急措置訓練



三角巾の応急措置訓練



煙体験



防災クイズ



簡易トイレの組立体験



ベランダ隔壁避難訓練

総合防災訓練実施!

3・11を教訓に防災対応型共助訓練を行いました。

9月25日(日)、大島六丁目団地の総合防災訓練を実施しました。
午前9時より、各号棟1階に集合した後、中央広場に集合し、3・11東日本大震災を教訓に防災時対応型共助訓練を行いました。

防災時対応型共助訓練として、中央広場にステージを造り、「初期消火訓練」と3号棟集会所での煙体験訓練、「三角巾の応急処置と車椅子での避難誘導訓練」、「家具下敷き被災者の救出と物干し竿と毛布の担架での移送訓練および心肺蘇生・AED応急措置訓練」の3つの訓練を行いました。
4、5号棟の指定フロア1では、屋内での防災時対応型共助訓練を行いました。中央広場では「簡易トイレの組立体験」「防災クイズ」「ベランダ隔壁避難訓練」が行なわれ、約400人の参加がありました。

訓練「炊き出し訓練」等の訓練も行いました。
デモンストラクションの「消防団の放水訓練・体験」が行なわれ、約400人の参加がありました。

もちつき大会

日時: 12月11日(日)午前10時30分より

場所: 中央広場

※会員証とおもちの入れ物を持ってきてください。
(つきたてのおもちを無料配布します)



クリスマス会

日時: 12月23日(金)午後3時より

場所: 3号棟集会所

★幼児・小学生のみなさん、あそびにきてください。



川柳・短歌コーナー

川柳・短歌を募集します。自治会事務所ポストへ応募ください。掲載された作品には記念品を差し上げます。

作例

ケータイを
使いきれずに
次はスマフォ

天才が
また一人消え
りんご見る

自転車も
ルールを守って
車道行く

ホームページでも自治会の情報をゲット!

<http://www.6-dan.com/>

自治会の行事案内や活動をホームページでもご案内しています。上記アドレスをご覧ください。

ホームページアクセス数

5月	829
6月	857
7月	1210
8月	900
9月	708



自治会メールアドレス
rokudan@road.ocn.ne.jp

9月

- 1日 大島地区区民まつりパレード部会
- 2日 夏期パトロール反省会
- 4日 大島地区自治会連合会事務局会議
- 5日 大島地区区民まつり北部まつり第2回実行委員会
- 6日 東京23区自治協東ブロック役員と東京東管理センターとの懇談会
- 9日 大島地区区民まつり交通部会
- 10日 第6回棟代表者会議
4号棟防災協力委員会会議
- 17日 大島地区区民まつり北部カラオケ大会
- 18日 大島地区区民まつりパレード
こども広場(当団地中央広場)

21日～30日 交通安全運動



- 23日 東京23区自治協はぜつり大会
- 25日 総合防災訓練(約400人参加)
- 26日 広報編集会議と40周年記念誌編集
- 27日・28日 第9回団地の生活と住まいアンケ

10月

- 1日 幹事会
東京東管理センターとの通報訓練
- 7日 東京23区自治協東・城北ブロック会議
(立花1丁目団地)
- 8日 第7回棟代表者会議
- 11日 東京23区自治協第1回団地代表者会議
- 14日 40周年実行委員会
- 16日 事務局会議
- 20日 大島地区自治会連合会理事会
- 21日 広報部会
- 22日 大島六丁目団地40周年記念まつり
- 31日 広報校正会議

自治会活動日記

自治会40年をふりかえる

中島政幸会長に聞く



安全・安心の団地へ

第3回



1999年度の総合防災訓練

問われる団地の震災対策

3月11日の東日本大震災が起きて、自治会の対応はどうですか？

これまでも火災がおきたときなど、「何かあれば自治会へ」ということだったので、今年の東日本大震災は、自治会の防災対策にも、いろいろと教訓がありました。

見回りや訪問、集会所開放、避難誘導、四大小PTAの方々が炊き出しを

当日、不安に感じた人たちが中央広場に集まり、自治会としては3号棟の集会所を借りて避難所に開放しました。団地にいた役員、災害協力隊のメンバー、民生委員も協力して、見回りや、要支援の登録をされている方々の安全確認も行いました。

夜になって、父親が帰宅せずに不安に感じたインド人の方々を中心に約100人を、四大小の体育館へ避難誘導しました。四大小では学校とPTAの方々がカレーの炊き出しもしていただき、一夜を明かすことができました。

備蓄や炊き出しなどの体制を

当日、私も、仕事先から車だったのですが、渋滞に巻き込まれて、帰宅したのは夜の10時過ぎでした。他の役員も歩いて帰宅した人もいます。どういった状況でも対応ができるように、日ごろから訓練をし、準備をしておきたいと思っています。この日の防災訓練は、「月並みな訓練は出来ない」という決意で、準備をし、取り組みました。



組立式簡易トイレ

◆現時点の備蓄品一覧

アルファ米	600食
乾燥白がゆ	100食
保存パン	570個
5年保存水1.6ℓ	1000本
簡易トイレ2セット	
凝固剤	700回分

災害協力隊と班長さん

災害協力隊の活動が大事ですね。

昔から災害協力隊はあったのですが、役員だけでした。防災訓練も行っていました。多くて100人ほどの参加でした。これではダメだということで、防犯防災部長になった盛さんが音頭をとって、97年11月、居住者に防災アンケートをとって、協力をよびかけて、98年に防災対策委員会を立ち上げました。

そして多くの方の参加と協力をえて、災害協力隊を強化し、各号棟では、フロアごとに班長を決めました。防災の

マニュアルや防災通信も発行するようになりました。99年の防災訓練は595人の参加を記録しています(左上写真)。その後、要支援の方のアンケートもとっていますが、だいぶ時間も経ちましたし、高齢者の方も増えていますので、もう一度、アンケートもとりたいたいと思います。

地域の共同の防災訓練も相談

六丁目団地は広域避難地にもなっていますね。

そうですね。昔、町会の人から、「六丁目団地に避難しても受け入れてくれないのではないかと」言われたことがありますが、「そんなことはないですよ」と答えたのですが、地域の皆さんとの連携を強めておくことは大事です。

じつは、来年の11月11日に、二大中学区の中央町会、三丁目町会、三丁目団地自治会、シティコート大島自治会、都営六丁目アパート自治会、六丁目団地自治会が共同して防災訓練を行うという話も進んでいます。学校の皆さんにも協力していただくことになると思いますが、六丁目団地の居住者の皆さんにも参加と協力をお願いすることになります。

高齢者の皆さんが住みやすいように

高齢者が多くなっていますが、助け合いが大事ですね。行政の方からもアドバイスがあったのですが、役員会で相談を重ねて、2008年に、「サポートグループ」をつくることができました。

「お手伝いできる人」40人ほどが登録して、お手伝いを希望する人のところへ出かけて、病院へのつきそいや、電車の取り換えとか、一回300円でサポートをするしくみができました。

東京都の事業で助成が

今年度、東京都が、「地域支え合い体制づくり事業」を実施することになり、都市機構にも話が来たものですが、六丁目団地自治会も応募したところ、65万円ほどの補助を受けられることになりました。高齢者の集まれる集会所の確保や、お茶のセットなどの備品も備える方向で、相談を進めているところです。

高齢者の会もありますね。

団地には、73年に自治会の婦人部のなかに、高齢者のあつまりである「ときわ会」ができました。以来、今日まで、江東区からも助成をうける高齢者の団体として、六丁目団地を中心に活動を続けています。

97年には、高齢者の皆さんを中心に「野菊の会」ができて、親睦活動が続けられました。中心になつてきた方々が転出したり、病気で、13年の歴史を閉じました。「ときわ会」の皆さんはじめ、高齢者の方々の協力を今後とも続けていきたいと思っています。

子どもたちが住みやすいように

子どもたちはどうでしょうか。

団地は車も入らないし、子どもが安心して遊べると評判がよいですね。

ピロティや商店街前に明かりを

昔は、団地が暗かったのです。ピロティが暗くて怖い、危ないという声があつて、公団とも交渉して、電氣をつけてもらいました。商店街の前も暗かったので、ショッピングセンターの会長さんとも相談したら、当時の東京都の事業として、商店街の電氣がついたのです。

二大中前の「やすらぎの木かげ通り」という名前がついていますが、ここは江東区の事業として、ずいぶんと街灯が明るくなりました。通路も車いすが通れるように、平坦にしてももらいました。

「そういえば、悪いこともできないはずだからね。先日、6号棟のピロティで「たき火事件」がありました。火災につながる危険なことで、絶対にやめてほしいと思います。「防犯カメラをつけようか」という意見もあります。同時に私が思うことは、小学生や中学生に、団地の行事にも参加してもらいたいということです。昔は、団地で号棟対抗の運動会を開いていましたから、二大小、四大小の生

公団住宅のふえが危ない!

都市再生機構(UR)をこれからどうするか、国土交通省が「工程表」を作って7月に発表しました。

★都市機構をどうするか

①株式会社方式の新しい公的法人にする。
②賃貸住宅部門と都市再生部門の区分をはっきり分けて収益を増やす。

★賃貸住宅をどうするか

①76万戸の賃貸住宅は可能な限り順次縮小する。
②低所得高齢者が多数住んでいるので、低所得の高齢者向けの住宅供給を行う。

③継続居住者の家賃値上げ、特別措置の縮小。

④都心部の高額家賃物件は売却手続きをする。
⑤地方公共団体に買い取り、借り上げの意向を確認する。

⑥定期借家契約を導入する団地を広げる。

公共住宅としての公団住宅を解消していく工程表なのです。

2011年 全国公団住宅居住者 総決起集会

とき：12月7日(水) 12時30分より

ところ：日本教育会館

※集合場所・松坂屋ストア横 時間・午前11時

2011年全国統一行動を成功させよう、私たちの声を届けよう!

それぞれの団地の居住者が集まり、全国的に団結することによって都市機構や国土交通省を動かすことができます。これまでも「居住者の力(統一署名)」によって、家賃や住宅の修繕や環境改善等で多くの要求を実現してきました。署名・カンパ活動へのご協力をお願いします。

徒たち、二大中の生徒たちが、競い合ったものです。自然と応援にも熱が入りました。

いまでも、団地まつりのプログラムの表紙は、毎年、三つの学校の生徒さんに交代で書いてもらっています。会をつくりたいですね。

団地まつりのプログラム